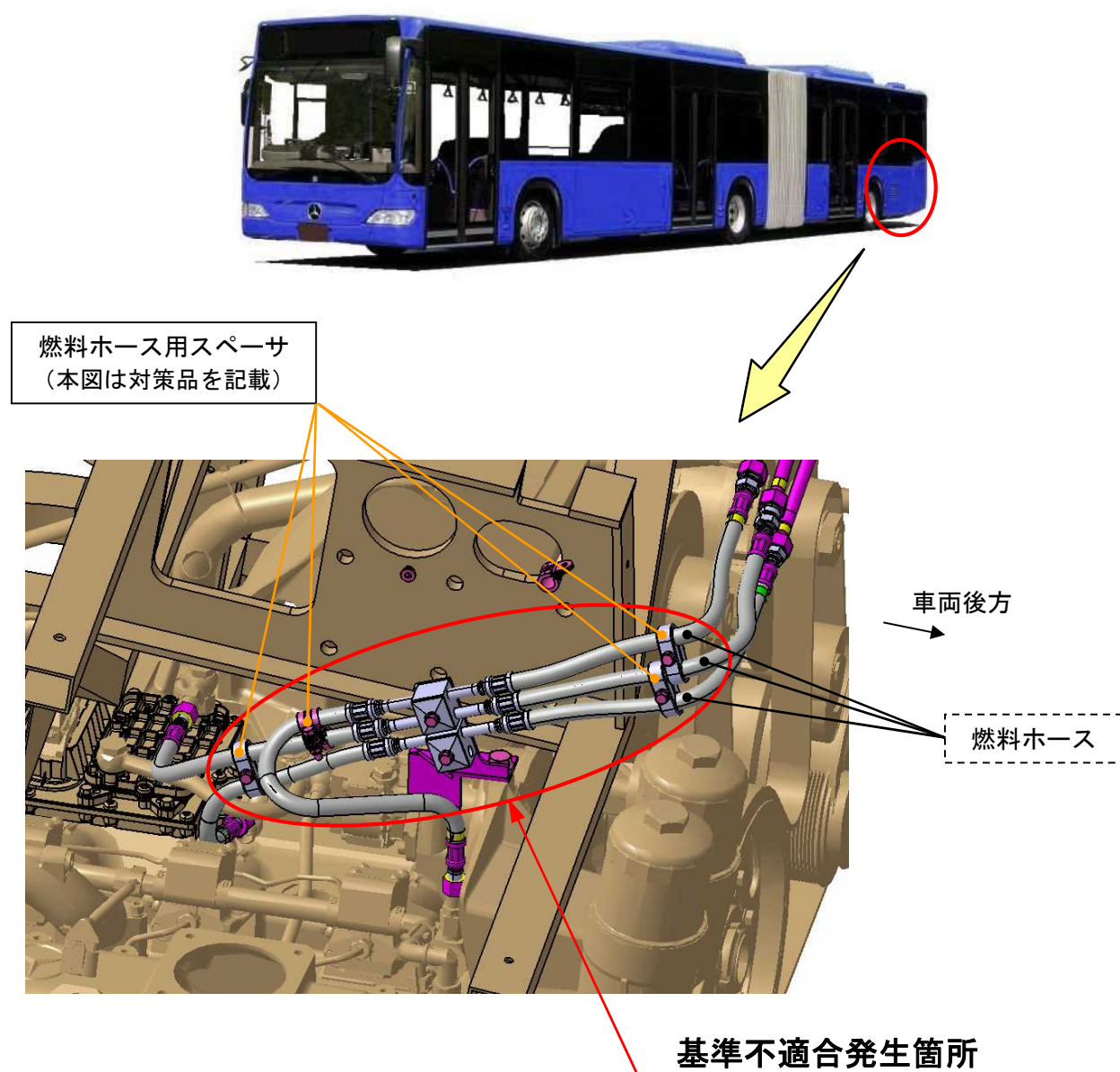


改善箇所説明図



連節バスの原動機において、燃料ホース同士が接触することを防止するスペーサの保持力が不足しているため、原動機の振動等により、当該スペーサが緩んだり脱落するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、燃料ホース同士が接触して穴が開き、最悪の場合、燃料が漏れて火災に至るおそれがある。

改善措置の内容

全車両、原動機の燃料ホース用スペーサを、対策品に交換する。また、燃料ホースを点検し、当該スペーサの緩みや脱落による損傷が認められた場合は、燃料ホースを新品に交換する。

注：□は対策品に交換する部品を、[]はスペーサのズレや脱落による損傷が認められた場合に交換する部品を示す。

識別：作業完了車には、車両左後方点検リッド裏に「HB177」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。